



※諸般の事情で5月号が6月に入ってから発行になりました。

今年の「創立記念行事」は先輩に学ぶ！

ようこそ先輩シンポジウム開催！

テーマ

「四中前進！『社会で活躍している天童四中の先輩からの学び』で一人一人のNextStageへ！」



花き農家
阿部なぎささん



整形外科医
明石一輝さん



親子スポーツトレーナー
大山史子さん



果樹農家
清野忠義さん



銀行員
後藤龍一さん



消防士
小池一幸さん



5月1日（木）は四中の33周年創立記念の日です。式典は5年ごとの区切りがよいときに行い、その他の年は「創立記念行事」として講演会や演奏会のようなことを行い、お祝いしていきたいと思っております。そこで、今年の四中は「学び」を考えながら前進するとしておりますので、「先輩からの学び」を企画しました。

先輩方は6名。同窓会長の小池さんを筆頭に、それぞれの分野で活躍されている方々をお招きしました。簡単に先輩を紹介しますと、小池さんは天童消防署に勤務なされている消防士さん。後藤さんは昨年度までPTA副会長として尽力いただくとともに、剣道部のコーチとしてもお世話になっている方で、山形銀行の行員。清野さんは成生地区在住で家業の果樹農家。大山さんは、縦断駅伝チームのトレーナーであり、親子スポーツ教室等を自ら開催。明石さんは吉岡病院に勤務なされている整形外科医。阿部さんは河北町で花き栽培農家。このような方々です。

先輩方からの「学び」を文章にしました。紹介したいところを抜粋しますので、ご拝読いただけたらと思います。

○ ～何気ない日常生活でも将来の仕事の「きっかけ」となるということです。大山さんも明石さんも、けがをしたり、病気になったり、そういう日常で起こることから今仕事についている人がいたので、もっと日常生活を大事に一つ一つの偶然や出来事、出会いや運命を大事にして、今後の学校生活や将来を過ごして、自分の道を見つけていきたいと思います。（3年武田晃誠さん）

○ ～仕事で好きややりたい気持ちを大切にしていることです。個人的に好きなことを仕事にすると嫌いになりそうだと思うかもしれませんが、先輩方は仕事に「やりがい」を感じられていたり、お話しされている姿が「生き生き」としていたり自分の仕事に対して好きという気持ちは大切なんだなと思いました。～（3年清野楓佳さん）

○ ～私が今日一番印象に残ったのは「回り道は失敗ではない」ということです。私は最短で目標にたどりつける道を探していましたが、たくさん悩んで、迷って、回り道をして、人生の糧になるのだと教えてもらい、ゆっくりでいいのだと、焦っていた気持ちがすごく楽になりました。（3年渡邊杏美さん）

○ ～なりたいたいと思うことは恥ずかしいことではないということです。私自身〇〇士という職業に憧れているのですが、ずっと恥ずかしさを感じていました。ですが6人の話の中で「人を助けたい」などで選んでいて、何かを思うことは恥ずかしいことではないんだなと思いました。～（3年小栗千宙さん）

～私は阿部さんに憧れます。誰でも目の前に壁があると、壁を避けて通りたくなります。それでも、阿部さんは負けませんでした。阿部さんは好きなことがあったから頑張ることが出来たのだと思います。頑張った人にしかわからない景色があります。景色までの道のりはまだまだ長いけれど、私もそのゴールに向かって、ゆっくり、自分のペースで前進していこうと思います。（2年奥山珠菜さん）

四中前進！「学び」深き5月の風が吹く！

5月13～15日は3年生が東京方面への修学旅行で、首都である大都会の大企業で「学び」、2年生は四中ハローワークで職場訪問し、天童の企業で「学び」、1年生は地域探訪として四中学区公民館で館長さん等、地域の方々から「学び」ました。今年は、2年生は天童市商工会議所の方々、1年生は地域の代表の方々にご協力いただきました。感謝申し上げます。地域の方々から学べる子供たちはとても幸せです。ありがとうございました！

1年地域探訪（地域の方々に学ぶ）



1年4組 伊藤夏羽さん

<大町公民館へのお礼状の抜粋>
～先日は、私たちの地域探訪のために、お時間をいただきありがとうございました。武田様、阿部様のお話はとても分かりやすく、将来に向けて自分がどのように行動していくべきか知ることができました。中でも、お年寄りが多い中での地域活性化という課題を知って、これからは積極的に地域の行事に参加したいと思います。～



2年職場体験（企業の方々に学ぶ）



2年4組 早坂駿佑さん

<出羽桜酒造へのお礼状の抜粋>
～お酒の作り方で今まで、酒は材料を入れておけば、勝手に発酵して出来るものだと思っていました。でも作り方を見たり、実際に作っている所を見たら、お酒造りの大変さに気づいて、出羽桜さんのお酒は、ほかのお酒とは比べ物にならない程、大切にこだわって作っていると知ることができまし、出羽桜さんから頂いた甘酒もすごく美味しかったので、将来、20歳になってから最初に飲む酒は出羽桜さんの日本酒を飲んでみようと思います。～



3年修学旅行（首都・都会に学ぶ）



3年4組 佐藤好晟さん

<週末作文からの抜粋>
～僕は修学旅行で、東京のビルや食べ物を山形と比べると楽しむのが楽しかったです。テーマ別研修や班別研修の班で東京を回り、どれほど最先端で素晴らしいかを目で見て、触り、感じることができました。日本を代表する都市として、何もかもが素晴らしく、狭い土地にいろいろな建物を詰め込む工夫を見るのも楽しかったです。東京に行ったことで、様々な工夫、外国人がなぜ東京に集まるのか、なぜ東京は日本の代表なのかということを班の人たちと知ることができたので、良い研修になりました。～

